



奈  
川  
れ  
い  
か  
二年  
不二聖心女子学院中学校

## 知事賞

### 私たちの大事な水



てしまします。美しい「水の都」ならではの大切な魅力が壊されてしまうかもしないのです。

私は、この問題に対して三島市は地下水の安全保障を調べているかが気になりました。調べてみると、市による地質調査や分析、地下水の保全対策が行われていることがわかりました。しかし、自然是人間の力ではかり知れないとしても大きな力であり、人間がすべての可能性を理解するのは不可能ではないかと私は思います。現在静岡県では、同じ理由でリニアモーターカーの建設にも反対運動が起こっています。地下水の安全が完全に保障されるわけではないのです。

美しい三島市の自然を壊すくらいなら、開発をしないありのままの三島市のほうが魅力的だと私は思います。私は三島市の美しい湧水や川を守りたいです。開発してもし、水に影響が出なかつたとしても、この開発をするのか、しないのかの判断は、三島市の郷土愛に大きく影響すると思います。

昨年から今年にかけて、それまで元気よく流れていった川の勢いがなくなり、枯れてきているように感じます。その川は、毎年秋から冬にかけて水量が少し減りますが、夏になんでもあまり増えない川の水に、私はとても悲しい気持ちになります。水が枯れたため、水の中で元気に遊んでいた子供たちや大好きだった生き物も少し違つて見えます。少し前に建設されたホテルによる工事で、驚くほど景色が変わりました。確かに、ホテル内にはおいしいレストランもあり、利用する

私の住む三島市は、「水の都」と呼ばれ、湧水を誇る街です。市内の川の水はとてもきれいで、毎年夏には暑さを避ける多くの子供たちや観光客でにぎわいを見せていました。私も幼い頃、姉や祖父と一緒に虫かごや虫取り網を手に出かけ、桜川の生き物を捕まえては観察していました。桜川の中をのぞくと、さまざま形の石や見たこともない生き物が多くて、それは本当に不思議な光景でした。また、家の近くにある樂寿園の小浜池が満水になり、その周りの豊かな緑とともに見る景色は本当に美しかったです。

しかし今、三島市の水は、「開発」という人間の行動によって壊されようとしています。それは三島駅南口の駅前再開発事業です。高層マンションやホテル、駐車場などの建設が計画されているそうです。

開発によって街は豊かになります。それでは何が問題なのでしょうか。開発と水にはどのような関わりがあるのでしょうか。調べてみると、現在計画中の高層ホテルは、十三階以上、高さにすると三十メートル以上もの建物になることがわかりました。それだけの高い建物を建てるためには、基礎工事といって地盤を十メートル以上掘削する必要があるのです。地面を十メートル以上掘る、この作業が、三島市の湧水の元となる地下水を断水させる可能性があるのです。この建設によって、私が幼い頃から見ている樂寿園の小浜池や、多くの人々の努力によって生まれ変わった源兵衛川にまで危機が迫つ

人の笑顔も多く見られます。しかし、その陰で、自然が壊れていることや、三島市の誇る水の命が絶えそうなことを、もつと三島市の人々に知ってほしいです。

ホテルや高層マンションの建設によって人や経済が動き、市が豊かになることはあります。しかし、それは自然との共生、自然と市と、どちらも豊かになる方法で行ってほしいと心から願います。私は三島市の命の水を絶やすことがないよう、今述べたような自分の考えを周囲に広げ、共有していただきたいです。また、自分の生活の中でも、「水」という存在に対しても改めて考え方、毎日感謝を忘れず大切に使っていきたいです。そして、私たちの誇りである大事な水を守れるよう、力を尽くしていきたいです。



#### 【審査員からの一言】

自分の住む地域の水と開発について、様々な視点から考査した上で、自分の意見を上手にまとめることができました。

身近にある川の流量や景色の変化を感じ取り、自分事として真剣に考えていました。これからも地域の水を大事にする気持ちを忘れないでください。



## 「水の日」及び「水の週間」について

暑い夏、八月は一年で水の使用量がもつとも増える月です。

その最初の一 日（八月一日）を、「水の日」、八月一日～七日を「水の週間」とすることが、昭和五十二年の閣議了解により定められました。今はあまり水に不自由を感じませんが、昔は渴水によって給水車が出動するなど、水資源開発や水を大切にすることは、私たちにとって非常に重要な課題でした。

水の日・水の週間には、水の貴重さや大切さを考えるための、様々な行事が行われています。

しかし今、気候変動や施設の老朽化など、いろいろな問題が私たちの水づかいに影響を及ぼすとしています。雨が降り、それが川となり、地下水となり、海に流れ出て、それが蒸発してまた雨が降って……

「水循環」が健全であることで、水がめぐる先々で豊かなめぐみがもたらされます。平成二十六年には、その水循環全体をしっかりと守っていくために、「水循環基本法」が制定され、八月一日は法律で「水の日」となりました。

（水の週間実行委員会ホームページより）

## 目次

### 知事賞

きれいな水をまもっていこう	浜松市立光明小学校	1年	片桐 悠佑	1
私たちの大切な水	不二聖心女子学院中学校	1年	石川 恵奈	3
教育長賞				

10年後に美しい水を残すため	静岡市立東豊田小学校	6年	佐々木 貴琉	5
生活と心を豊かにする水の恵み	不二聖心女子学院中学校	1年	別所 恵奈	7
学びから行動へ、行動から美しい川へ	静岡市立両河内小中学校	9年	山崎 倖来	9
私学協会長賞				

せつ電で水をきれいに	沼津市立金岡小学校	四年	齋藤 洋	11
水と生きる	浜松市立東小学校	三年	縣ひかる	13
「大切な資源」	西遠女子学園中学校	二年	中根 瑞亞	15
世界の命をつなぐ水	不二聖心女子学院中学校	一年	勝俣理子	17
入賞				

水に恵まれた環境	静岡市立両河内小中学校	八年	鈴木 吟之助	19
水の週間記念作文コンクールについて				

# 令和 4 年度

## 水の週間記念作文集



静岡県

### 明日の水利用のために…

〈水〉は限りある資源です。  
私たちが水を使うということは、  
水を動かし、水を汚すことにはかなりません。  
日ごろ、水の恩恵に浴している私たちは、水を  
大切に利用するとともに守り、育てなければなりません。  
そして、次の世代へ、さらに次の世代へと  
豊かな水を残していくこうではありませんか。

印刷用の紙にリサイクルできます。

この冊子は、980部作成し、1部あたりの印刷経費は46.2円です。